

1/21(日) 第12回瀬戸内植込みデバイスカンファレンス プログラム

09:25~9:30 開会挨拶

代表世話人:河藤 壮平(岡山ハートクリニック 臨床工学科)

09:30~10:40 心電図セミナー(講演30×2=60分 質疑応答10分)

座長: 高橋 勝行(藤井ハートクリニック 生理検査室)

「メディカルプロフェッショナルが知っておくべき心電図(徐脈編)」

浅木 康志(愛媛大学病院 ME機器センター)

「そのペースメーカー心電図は正常? ~後輩に一目置かれる心電図判読～」

金子 寛昭(香川県立中央病院 臨床工学科)

010:40~10:50 休憩

010:50~ 11:50 技士特別講演(講演50分 質疑応答10分)

座長: 河藤 壮平(岡山ハートクリニック 臨床工学科)

第1部 「止まるから止める時代へ~iATPの有効性～」

竹中 祐樹(岡山大学病院 臨床工学センター)

第2部 「遠隔モニタリングにより心不全は予測できるか~心不全増悪を食い止める一手先を読む管理へ～」

有道 真久(心臓病センター榊原病院 臨床工学科)

011:50~12:00 休憩

012:00~13:00 ランチョンセミナー 医師特別講演(講演50分 質疑応答10分)

座長: 竹中 祐樹(岡山大学病院 臨床工学センター)

「これからのペースメーカー治療の展望
”リードレスペースメーカーやHis束ペーシングからはじまる新しいpacing法はpacemaker strategyをどうかえるか?”」

久保 元基先生(岡山ハートクリニック 循環器内科)

013:00~13:10 休憩

013:10~14:25 一般演題 5演題(講演8分+質疑7分×5)

座長: 水津 英仁(川崎医科大学附属病院 MEセンター)

三宅 弘之(倉敷中央病院 臨床工学科)

①「遠隔モニタリングによる心不全アラート介入が有用であった1症例」

南 健太(心臓病センター榊原病院 臨床工学科)

②「EffectiveCRT率変化からLV Pacing Failureに気づくことができた1例」

永禮 和真(倉敷中央病院 臨床工学科)

③「CRT-D植込み患者に対して頻回に起こる心室頻拍の治療設定に難渋した1例」

黒川 伸宏(広島心臓血管病院 診療技術部)

④「当クリニックにおける左脚領域ペーシングの経験」

秋山 耀毅(岡山ハートクリニック 臨床工学科)

⑤「新型コロナウイルス感染症を契機に植込み型除細動器の頻回作動をきたした1例」

黒田 聡(安佐市民病院 臨床工学室)

014:25~14:30 休憩

014:30~16:30 技士特別企画

座長: 藤本 典一(岡山医療センター 臨床工学科)

有道 真久(心臓病センター榊原病院 臨床工学科)

テーマ「プロフェッショナルが明かす! 心臓デバイス管理テク」

講師

①「デバイスフォローの留意点」

高垣 勝(滋賀県立総合病院 臨床工学科)

②「見逃さない! ここまでわかる! 遠隔モニタリング」

脇田 亜由美(一宮市立市民病院 臨床工学室)

コメンテーター

①朝原 康介(倉敷中央病院 臨床工学科)

②難波 宏太(岡山大学病院 臨床工学センター)

016:30 当番世話人挨拶

当番世話人: 藤本 典一(岡山医療センター 臨床工学科)

河藤 壮平(岡山ハートクリニック 臨床工学科)